

## 水辺の秋景色を楽しみながら ウォーキング交流会を開催

10月30日、飯館村教育委員会・飯館村公民館・いいたてスポーツクラブ主催の『ウォーキング交流会』を開催しました。

今年は、摺上ダム(福島市)の周辺にコースを設定。「摺上ダムインフォメーションセンター」に集合し、見所を確認してからの出発です。ダム湖を囲む山々の色づきを楽しみながら、故郷の仲間と楽しむウォーキングは格別です。昼食は、途中の公園でグループごとに、「次はあそこに行ってみよう」と、この交流の継続を期待する声が聞かれました。



爽やかな秋晴れの下、それぞれのペースでウォーキングを楽しみ、和やかに交流した参加者の皆さん。

## 郷愁を誘う秋の飯館を巡る 飯館YOITOKO発見!ツアー

『第2回飯館YOITOKO発見!ツアー～郷愁を誘う秋の飯館を巡る～』を11月5日に開催しました。今年度から始まったこのツアーは、飯館村の魅力に触れファンになってもらおうと企画しているもので、今回は、首都圏を中心に38人が参加しました。当日は、はやま湖畔で秋景色を堪能。『塩の道』をたどり、関沢古墳群を訪れ、村民講師の解説で太古の歴史にも触れました。また、交流センター「ふれ愛館」で、『食を考える会』お手製の郷土料理弁当や、ZABADAKのコンサートも楽しんでいただきました。



(上) 関沢古墳群の古墳にて。(右) 郷土料理に舌鼓。



## ふんわり楽しくおいしい時間 ラテアート教室を開きました

11月10日、交流センター「ふれ愛館」で、生涯学習事業「ラテアート教室」を開催しました。講師は地域おこし協力隊の横山梨沙さんです。

ラテアートとは、温かなカフェラテやカプチーノの表面にデザインを施すもの。「注ぐタイプ」と「お絵描きタイプ」、2つの技法の教室を連続で開催しました。参加者は、それぞれが描きたいモチーフを選び、横山さんの手ほどきで作品づくりに挑戦。スチームしたふわふわミルクのやさしいラテを味わいながら、新しい体験を楽しんでいました。



左は「お絵描きタイプ」の作品。互いの作品を楽しんだり、自作を撮影したり、終始和やかに。

## こども園NEWS



今回収穫したのは、「いいたて希望の里学園」の西側にある畑。3歳未満児も作業を応援しました。

## がんばって掘りました 大きなサツマイモに大歓声!

10月28日、『まていの里のこども園』の3歳以上児「たいよう組」「つき組」「そら組」の約30人が、サツマイモを収穫しました。

苗植えから、水やりをして大切に育てたサツマイモは、園児たちの気持ちに応えるように大きく成長し、バケツに入りきれないほどの量になりました。

小さな手で大きなサツマイモを収穫した園児たちは、「大きいのが掘れた!」「先生見て見て!」と、とても楽しそうに歓声を上げながら、熱心に掘り続けました。

## 素敵な仮装でダンスを披露! こども園のハロウィンパレード

村役場に近づいて来る「Trick or Treat(トリック オア トリート)」のかわいらしい声。10月31日、こども園のハロウィンパレードがやって来ました。カボチャやお化け、ネコに魔女…。工夫いっぱいの仮装に身を包んだ園児たちが、玄関前で、元気なダンスを披露してくれました。コロナ禍前は庁舎内を練り歩き、お菓子を手にした職員も大勢集まり賑やかでしたが、今は我慢。ダンスのパワーをもらって、大人もみんな、マスクからこにこ顔がはみ出していました。



感染症対策で、お菓子のプレゼントは杉岡村長から代表園児に。

## 健やかな成長を願って 七五三参りを行いました

11月15日、こども園で、七五三の行事が行われました。

「そら組」の園児たちは、スクールバスに乗って、綿津見神社を訪れました。神社では、宮司さんからお参りの作法を教わり、そろって七五三参りを行いました。

園児たちは、この日に向けて、健やかな成長を願う七五三の由来や、千歳飴の意味などを教わってきました。千歳飴の袋は、一人ひとりの手づくりです。



心をこめて、七五三参りができましたね。自分でつくった千歳飴の袋もとっても素敵です。